

三井住友・ 中小型株ファンド

【運用報告書(全体版)】

(2019年9月26日から2020年9月25日まで)

第 **17** 期
決算日 2020年9月25日

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	無期限（設定日：2003年9月30日）
運用方針	日本の取引所に上場している株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本の取引所上場の株式
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none">■主として、日本の取引所に上場している株式（これに準ずるものを含みません。）のうち、中小型株に投資を行います。■組入銘柄の選定は、徹底したボトムアップリサーチにより推計した「企業価値」を基本に行います。■株式の組入比率は、高位を基本とします。ただし、企業価値と比較して割安度が高いと判断される企業が減少した場合等には、組入比率を低下させることがあります。
組入制限	<ul style="list-style-type: none">■株式への投資割合には、制限を設けません。■外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。
分配方針	<ul style="list-style-type: none">■年1回（原則として毎年9月25日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。■分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。■分配金額は、委託会社が基準価額の水準等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは日本の取引所に上場している株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) 日経ジャスダック平均株価		株式組入率 比	純資産額
	(分配落)	税金 込	騰落 率	騰落 率	騰落 率		
	円	円	%		%	%	百万円
13期 (2016年9月26日)	21,028	200	1.8	2,509.47	0.8	98.6	1,221
14期 (2017年9月25日)	31,307	200	49.8	3,543.13	41.2	97.6	1,955
15期 (2018年9月25日)	38,767	200	24.5	3,816.38	7.7	95.3	8,391
16期 (2019年9月25日)	34,896	200	△ 9.5	3,388.44	△ 11.2	99.0	19,904
17期 (2020年9月25日)	36,320	200	4.7	3,597.88	6.2	98.2	9,828

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※日経ジャスダック平均株価の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) 日経ジャスダック平均株価		株式組入率 比
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首) 2019年9月25日	円	%		%	%
	34,896	—	3,388.44	—	99.0
9月末	34,590	△ 0.9	3,379.39	△ 0.3	98.9
10月末	36,536	4.7	3,510.68	3.6	98.0
11月末	37,724	8.1	3,664.82	8.2	99.2
12月末	38,433	10.1	3,837.58	13.3	98.2
2020年1月末	37,091	6.3	3,793.65	12.0	99.3
2月末	31,855	△ 8.7	3,294.92	△ 2.8	99.4
3月末	29,380	△ 15.8	2,952.79	△ 12.9	97.3
4月末	31,361	△ 10.1	3,169.19	△ 6.5	96.4
5月末	34,528	△ 1.1	3,415.05	0.8	96.7
6月末	34,108	△ 2.3	3,442.90	1.6	98.6
7月末	32,696	△ 6.3	3,365.07	△ 0.7	98.2
8月末	35,102	0.6	3,531.94	4.2	98.2
(期末) 2020年9月25日	36,520	4.7	3,597.88	6.2	98.2

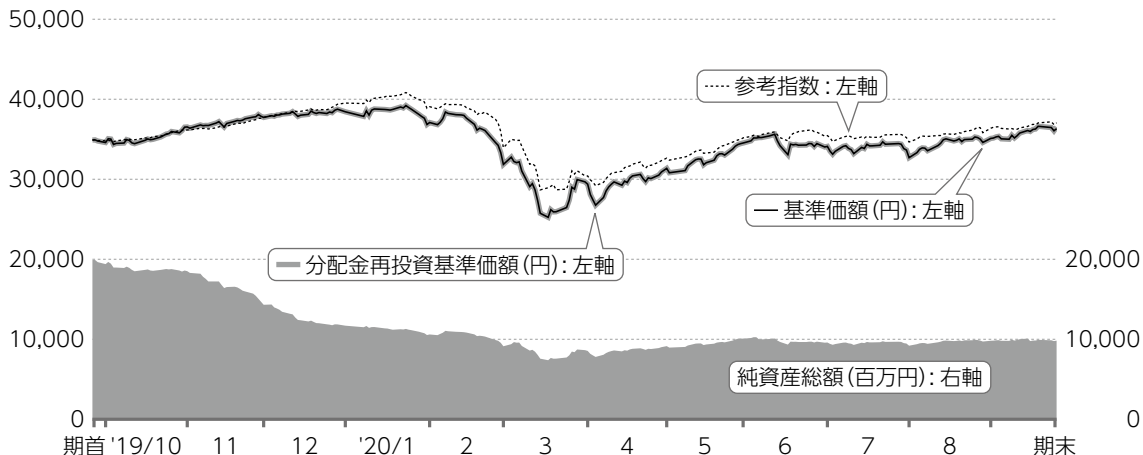
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2019年9月26日から2020年9月25日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	34,896円
期末	36,520円 (分配金200円(税引前)込み)
騰落率	+4.7% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、日経ジャスダック平均株価です。

※日経ジャスダック平均株価の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2019年9月26日から2020年9月25日まで)

当ファンドは、日本の取引所に上場している株式のうち、中小型株を主要投資対象とした運用を行いました。組入銘柄の選定は、徹底したボトムアップリサーチにより推計した「企業価値」を基本に行いました。

上昇要因

- アイ・アールジャパンホールディングス、神戸物産、ダイフクなどの株価が上昇したこと

下落要因

- ツバキ・ナカシマ、太平洋工業、東祥などの株価が下落したこと

投資環境について(2019年9月26日から2020年9月25日まで)

当期の国内中小型株式市場は上昇しました。

国内株式市場は、各国の金融緩和策に対する期待に加えて、米中貿易問題の好転期待(12月には貿易交渉において第一段階の合意が発表されました。)が世界景気の回復期待へと繋がり、期初から上昇基調をたどりました。しかしながら1月下旬から3月中旬にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて、世界景気および企業業績の先行きを警戒する見方が強まったことから急落しました。3月下旬から6月

下旬にかけては、各国中央銀行による金融緩和策の強化が発表されたことや、大規模な経済対策への期待が高まったことから反発しました。7月は、横ばいで推移したあと、8月以降は米国株式市場の上昇や経済活動再開への期待などから期末にかけて再び上昇しました。

当期の市場の動きを日経ジャスダック平均株価で見ると、期首に比べて6.2%上昇しました。

ポートフォリオについて(2019年9月26日から2020年9月25日まで)

株式組入比率

期首より90%以上で推移させました。期末は98.2%としています。

業種配分

個別銘柄選定の結果、サービス業の組入比率を引き下げるとともに、建設業、化学の組入比率を引き上げました。

個別銘柄

コシダカホールディングス、フジシールインターナショナル、共立メンテナンスなどを売却する一方、ライト工業、物語コーポレーション、太陽ホールディングスなどを買い付けました。運用基本方針通り、企業取材等の企業調査・分析によって推計した「企業価値」に基づいて「目標株価」を算出し、その価格に対して割安な銘柄に投資しました。

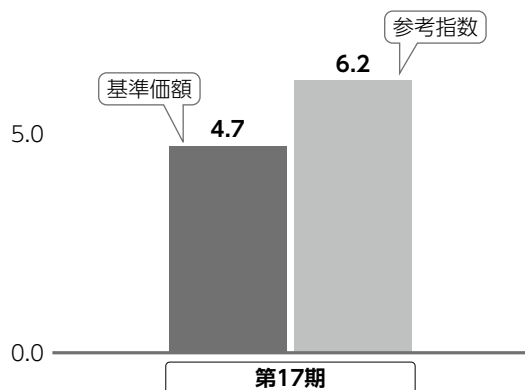
ポートフォリオの特性

期末のサービス業、情報・通信業の組入比率がそれぞれ31.8%、17.7% (株式評価総額に対する比率) であるなど、内需敏感業種・銘柄を中心としたポートフォリオとしています。

ベンチマークとの差異について (2019年9月26日から2020年9月25日まで)

基準価額と参考指数の対比 (騰落率)

(%)
10.0



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数として日経ジャスダック平均株価を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について(2019年9月26日から2020年9月25日まで)

(単位:円、1万口当たり、税引前)

項目	第17期
当期分配金	200
(対基準価額比率)	(0.548%)
当期の収益	200
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	26,320

当期の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、200円といたしました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

国内株式市場については、新型コロナウイルスや世界景気の減速懸念などの材料に神経質に反応し、不安定な状況が続くと予想します。しかしながら、個別銘柄でみれば、引き続き割安な水準に放置された銘柄が多く見受けられます。目先の物色動向に

左右されないよう、業績動向に加え、「企業価値」に基づいたバリュエーション(投資価値評価)を特に注視しながら銘柄選定を行います。

(2020年10月1日現在)

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

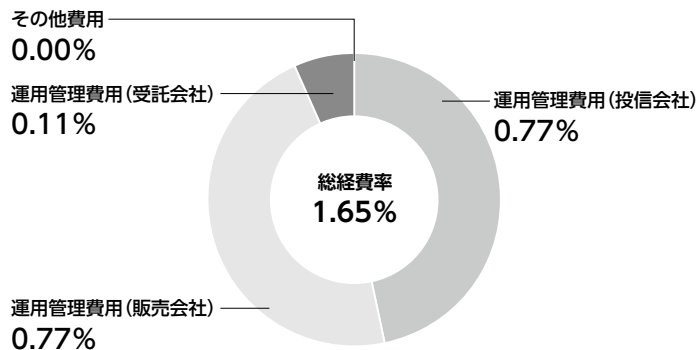
■ 1万口当たりの費用明細 (2019年9月26日から2020年9月25日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	568円 (265) (265) (38)	1.650% (0.770) (0.770) (0.110)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	34 (34)	0.098 (0.098)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	2 (2) (0)	0.005 (0.005) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	604	1.753	

期中の平均基準価額は34,450円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

参考情報 総経費率（年率換算）



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
※各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。
※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.65%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2019年9月26日から2020年9月25日まで)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上 場	千株	千円	千株	千円
		1,266 (526)	2,131,426 (-)	6,648	13,145,367

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年9月26日から2020年9月25日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	15,276,794千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	11,467,133千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	1.33

※単位未満は切捨て。

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2019年9月26日から2020年9月25日まで)

(1) 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
株 式	百万円 2,131	百万円 212	% 9.9	百万円 13,145	百万円 703	% 5.3

(2) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	買 付 額
株 式	百万円 115

三井住友・中小型株ファンド

(3) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
(a) 売買委託手数料総額	11,370千円
(b) うち利害関係人への支払額	620千円
(c) (b) / (a)	5.5%

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年9月26日から2020年9月25日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2020年9月25日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)	期	末
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
建設業 (4.6%)			
コムシスホールディングス	23.5	50	147,750
日本電技	10	—	—
東鉄工業	96	52.5	150,255
ライト工業	—	94	150,588
繊維製品 (1.3%)			
セーレン	196	83	127,571
化学 (6.5%)			
日油	84.5	29.5	122,130
太陽ホールディングス	—	28	155,400
JCU	68.5	35.5	123,185
藤森工業	51.4	24.5	106,575
ニフコ	98	42	116,550
医薬品 (2.3%)			
栄研化学	131	58	122,090
ダイト	70	28	99,680
ゴム製品 (1.2%)			
ニチリン	112.6	56.5	74,467
相模ゴム工業	93.3	27	39,744
ガラス・土石製品 (1.1%)			
日東紡績	—	23.5	104,222
金属製品 (2.2%)			
トーカロ	220	112	126,000
パイオラックス	119	55	83,600
機械 (6.9%)			
レオン自動機	142	47	53,110
ホソカワミクロン	50	16.5	97,020
オイレス工業	30.6	—	—
サトーホールディングス	72	45	98,865

銘 柄	期首(前期末)	期	末
	株 数	株 数	評 価 額
ダイフク	54.5	14.5	146,885
新晃工業	118	60.5	91,113
ツバキ・ナカシマ	150	54	42,714
スター精密	166	100	139,800
電気機器 (6.6%)			
HPCシステムズ	17	—	—
日本信号	10	—	—
スミダコーポレーション	95.5	48	35,472
イリソ電子工業	48	29.5	122,572
オブテックスグループ	35	16.5	26,185
スタンレー電気	106.5	50	149,800
図研	119	34	102,000
カンオ計算機	126.5	69.5	115,509
芝浦電子	53.2	39	84,903
輸送用機器 (1.2%)			
太平洋工業	208	118	115,286
精密機器 (2.3%)			
マニー	75	36	98,928
朝日インテック	93.5	39.5	123,042
その他製品 (2.1%)			
フジシールインターナショナル	89.5	—	—
リンテック	73	39	98,085
オカムラ	284	135	103,815
陸運業 (1.0%)			
サカイ引越センター	40	20	101,200
情報・通信業 (17.7%)			
GMOペイメントゲートウェイ	14.5	4.5	49,905
コムチュア	52	44	118,448
ラック	152	—	—
デジタル・インフォメーション・テクノロジ	—	43	56,717

三井住友・中小型株ファンド

銘柄	期首(前期末)		期末	
	株数	株数	評価額	評価額
マクロミル	214	—	—	—
ヘッドウォータース	—	0.1	240	—
アクシス	—	1	1,070	—
rakumo	—	6.9	8,625	—
インテジホールディングス	203	112.5	108,000	—
パワーソリューションズ	1.7	—	—	—
クレスコ	73	74	100,344	—
フューチャー	110	60	137,280	—
S Bテクノロジー	101	34	125,970	—
アイティフォー	243	141	127,746	—
アルゴグラフィックス	—	41	147,805	—
光通信	14.1	6	148,680	—
D T S	132	65	146,835	—
富士ソフト	75.5	28.5	150,480	—
N S D	96.5	73	151,037	—
J B C Cホールディングス	144	74	129,870	—
卸売業 (3.8%)				
エフティグループ	151	73	97,820	—
神戸物産	48.5	18.5	105,635	—
ドウシヤ	24	—	—	—
日本ライフライン	—	70	96,250	—
シークス	112	53	66,727	—
小売業 (7.4%)				
サンエー	42.5	21.5	101,050	—
あみやき亭	59	21	62,979	—
大黒天物産	57	21	126,840	—
ビックカメラ	231.5	85	97,920	—
アークランドサービスホールディングス	105	53	109,233	—
物語コーポレーション	—	12	118,320	—
クスリのアオキホールディングス	25	10.5	97,020	—
サービス業 (31.8%)				
日本M & Aセンター	67.5	17.5	102,900	—
ビーネックスグループ	158	121	134,310	—
コシダカホールディングス	152	—	—	—
学情	113	67	74,236	—
総合警備保障	54.5	28.5	147,915	—
ツクイ	418	60	37,080	—

銘柄	期首(前期末)		期末	
	株数	株数	評価額	評価額
ベネフィット・ワン	153.5	39.5	105,781	—
アウトソーシング	254	153.5	136,615	—
ジャパンベストレスキューシステム	214	146	153,884	—
ライク	136	65	122,070	—
インフォーマート	62	55.5	51,060	—
E P Sホールディングス	115.5	97	102,432	—
プレステージ・インターナショナル	176	161	149,730	—
日本空調サービス	65	65	48,425	—
りらいあコミュニケーションズ	220	77	102,564	—
リソー教育	409	312	89,856	—
東京個別指導学院	—	175	99,925	—
テー・オー・ダブリュー	92	147	47,334	—
エフアンドエム	125.5	81.5	100,815	—
フルキャストホールディングス	144	89	142,489	—
テクノプロ・ホールディングス	47.5	23.5	144,995	—
アイ・アールジャパンホールディングス	64	8.5	113,475	—
ライドオンエクスプレスホールディングス	156	38	99,674	—
カープスホールディングス	—	43	29,541	—
リロググループ	115	54	131,166	—
東祥	116.3	24.2	31,048	—
共立メンテナンス	65.2	—	—	—
乃村工芸社	—	68	54,332	—
丹青社	166	13	9,373	—
メイテック	56.5	27	143,370	—
船井総研ホールディングス	85	44	105,864	—
学究社	93.7	75	84,150	—
ディーエムエス	107.5	48	69,552	—
イオンディライト	50	33	97,383	—
合計	10,364	5,514	9,648,304	
株数・金額	10,364	5,514	9,648,304	
銘柄数<比率>	94	96	<98.2%>	

※銘柄欄の（ ）内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

※< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※評価額の単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※—印は組入れなし。

■ 投資信託財産の構成

(2020年9月25日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円	%
株	9,648,304	96.2
コール・ローン等、その他	379,419	3.8
投資信託財産総額	10,027,723	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年9月25日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	10,027,723,503円
コーポレート債等 株式(評価額)	225,437,965 9,648,304,100
未収入金	139,483,443
未収配当金	14,497,995
(B) 負 債	199,421,728
未払金	5,107,258
未払収益分配金	54,120,185
未払解約金	61,597,011
未払信託報酬	78,328,445
未払利息	657
その他未払費用	268,172
(C) 純資産総額(A-B)	9,828,301,775
元 本	2,706,009,268
次期繰越損益金	7,122,292,507
(D) 受益権総口数	2,706,009,268口
1万口当たり基準価額(C/D)	36,320円

※当期における期首元本額5,704,072,438円、期中追加設定元本額970,829,094円、期中一部解約元本額3,968,892,264円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	当	期

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 損益の状況

(自2019年9月26日 至2020年9月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	180,074,179円
受 取 配 当 金	180,188,653
受 取 利 息	8
そ の 他 収 益 金	9,586
支 払 利 息	△ 124,068
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	471,756,572
売 買 益	2,141,925,348
売 買 損	△1,670,168,776
(C) 信 託 報 酬 等	△ 188,992,931
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	462,837,820
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 49,306,664
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	6,762,881,536
(配 当 等 相 当 額)	(4,340,338,037)
(売 買 損 益 相 当 額)	(2,422,543,499)
(G) 計 (D+E+F)	7,176,412,692
(H) 収 益 分 配 金	△ 54,120,185
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	7,122,292,507
追 加 信 託 差 損 益 金	6,762,881,536
(配 当 等 相 当 額)	(4,340,338,037)
(売 買 損 益 相 当 額)	(2,422,543,499)
分 配 準 備 積 立 金	359,410,971

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※期末における、費用控除後の配当等収益(127,855,432円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(186,577,906円)、信託約款に規定される収益調整金(6,762,881,536円)および分配準備積立金(99,097,818円)より分配可能額は7,176,412,692円(1万口当たり26,520円)となり、うち54,120,185円(1万口当たり200円(税引前))を分配金額としております。